

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録		
招 集 期 日	令 和 7 年 8 月 2 1 日 (木)	
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室	
開 会	8 月 2 1 日 午 前 9 時 3 0 分	
閉 会	8 月 2 1 日 午 前 1 1 時 1 5 分	
教 育 長	戸 ケ 崎 勤	
教 育 長 ・ 委 員 出 席 状 況	戸 ケ 崎 勤	出 席
	仙 波 憲 一	出 席
	木 村 雅 文	出 席
	長 道 修	出 席
	浜 田 美 咲	出 席
説 明 員 (出席者)	川和田教育部長、梶山参事、片境次長	
	重信教育総務課長、水沼教育政策室担当課長	
	石橋生涯学習課長	
書 記	教育総務課総務担当 我妻副主幹	
傍 聴 人	0 名	

会 議 の 経 過 及 び 結 果

教 育 長

あと少しで夏休みが終わります。この夏休み中、とだっ子たちは、様々な場所で多くの体験をしたことと思います。こうした体験の一つひとつが、子供たちの成長にとってかけがえのない宝物となります。1年前のここでの挨拶で、ラーケーションや Awe 体験のお話をしました。

しかし、全ての子供たちが同じように豊かな体験をできるわけではありません。経済的な理由や家庭の事情など、様々な要因により、体験機会が限られてしまう子供たちがいます。これを「体験格差」と呼んでいます。経済的に困難な状況にある子育て世帯を対象にしたある民間団体の調査では、回答者の 16%（およそ 6 世帯に 1 世帯）が夏休み中の体験予算が「0 円」と回答したそうです。体験格差は、子供たちの将来に、少なからず影響を及ぼすという指摘もあります。

遊びや実体験が少ないと好奇心や探究心が育ちにくくなる、多くの人々と触れ合う機会が少ないとコミュニケーション能力や社会性が弱くなる、豊かな感性や創造性が育まれにくくなる、さらに体験不足が学力にも影響を及ぼすという調査結果もあります。

教科書の中の知識は実体験と結びつくことで、より深く鮮明なものになります。例えば、理科の授業で習う「昆虫の生態」は、実際に昆虫を観察した経験があれば、よりリアルに理解できます。社会科で学ぶ「地域の歴史」も、地元の史跡を訪れた経験があればより身近に感じられるでしょう。まさに AI で話題になる「記号接地」です。体験格差はこうした学びの土台を揺るがしかねません。

「夏休みは楽しくないからなくなればいい」と感じる子供や、高学年になると「どこへ行っても暑いし混んでいるから行くのをやめよう」と親を気遣うようになる子供もいるそうです。私たちはこの体験格差に対して、どのように向き合えばよいのでしょうか。

	体験格差をなくすことは簡単ではありませんが、学校や地域が連携し、夏休み中の学びの場や体験活動を充実させることや、地域の方々の力を借りて、子供たちが安全に、安心して参加できるようなプログラムを企画することもできるかもしれません。過日のサイエンスフェスティバルや現在行われている「こども大学」も大切な取組だと思います。また、公共施設やイベント情報、無料で参加できる活動など、様々な情報を子供や保護者に積極的に発信していく必要もあると思います。 NP0、企業、大学と連携した子供の体験格差解消プロジェクトや「こども冒険バンク」といった支援も始まっているようです。多くの子供たちに、人生を変えるささやかな感動や思い出を届けられるように、産官学が連携して取り組んでいくべきだろうと思います。
教 育 長	それでは、ただ今から令和7年第8回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいております。御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。
委員	了承
教 育 長	それでは、会議録に御署名をお願いします。
委員	署名
教 育 長	本日は議決する案件がございませんが、教育委員提案及び報告事項がございますのでよろしくお願いいたします。 次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。次の案件については、個人情報、公開することにより事務の公正な執行に支障が生じる案件及び人事案件となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。 報告事項① 令和7年度第1回戸田市海外留学奨学生について

委員	異議なし
教 育 長	それでは「報告事項①」は、秘密会とすることに決定いたしました。
教 育 長	では、「教育委員提案」について御報告いたします。仙波委員、長道委員、浜田委員から御提案のありました「教育委員提案①学校の様々な教育活動について（平和教育・キャリア教育・金融教育・メディアリテラシー教育）」を、事務局より説明願います。
説 明 員	仙波委員、長道委員、浜田委員から御提案のありました平和教育、キャリア教育、金融教育、メディアリテラシー教育について、学校の様々な教育活動についてとして御説明いたします。 最初に平和教育についてです。平和教育は、教育課程上、社会科を中心に歴史的事実や日本国憲法等を学び、特別の教科道徳において生命の尊さや国際理解等を学ぶこととされています。 本市の取組例をお伝えします。中学校では、総合的な学習の時間において、平和をテーマとして学習を行ったうえで、修学旅行で広島に行き、体験をとおして、平和について実感を深め、事後の学習に活かしている学校があります。 小学校では、国語の時間に埼玉県平和資料館の職員から戦争や戦時中の市民の生活の話を聞く機会を設けている学校があります。 次に、キャリア教育について御説明いたします。キャリア教育の教育課程上の位置づけは、各教科の特質に応じて充実を図っていくこととなっておりますが、特に「特別活動」を要として進めています。「特別活動」の学習指導要領では内容で示されているもののうち、学級活動（３）として「一人一人のキャリア形成と自己実現」という項目があり、自己実現とのつながりを考えること、また、自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動すること、そして、目標をもって生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と

	照らして考えることなどを目指しています。 具体的な取組ですが、戸田市では小学校のキャリア教育を支援するため、キッザニア東京での学習に補助金を支援しております。市内全小学校の4年生が校外学習としてキッザニア東京に行き、様々な職業体験をすることで、働くことの意味や社会経済の仕組み等の学びを深めています。さらに、働く体験が、コミュニケーション能力などを養う一助にもなっています。 中学生では、中学2年生を対象に豊かな感性や社会性、自立心を養い、たくましく豊かに生きる力を育むことを目指し、社会体験チャレンジ(3Days)に取り組んでおります。市役所でも多数の課で社会体験をしています。その他にも小学校や地域の企業、事業所などの施設などにも受け入れを依頼し、実施しています。さらに、進路指導として、卒業生の話を聞く会や高校教諭を招いた高校紹介、学校運営協議会や学校応援団による面接練習を行っている中学校もあります。 次に金融教育についてです。教育課程上の位置づけは主に、小学校の家庭科、中学校の技術・家庭科・社会科となっております。 本市の取組としては、日本銀行オンライン授業で、日本銀行の仕事や日本銀行の館内をリモートで見学したり、住友生命や東大金融研究会の方から働くことの大切さやお金について考える授業をしていただいたりしています。また、各学校では、「学校の約束」としてお金の使い方を定めたり、長期休み前にお金の使い方について指導したりしています。 続いてメディアリテラシー教育についてです。教育課程上の位置づけとして学習指導要領上では、「情報活用能力」を各教科等を通して育成、また、各教科では「情報」について教科の特性に応じて学習することになります。 本市においては、「デジタル・シティズンシップ授業を全学年3時間」実施し、メディアリテラシー教育はその柱の1つとして扱い、メ
--	--

	ディアバランスがとれた1日の計画を立て、計画を実践し、家庭からフィードバックをもらっています。また、スマートニュースメディア研究所と連携した取組や教員向け研修会も実施しています。 このように各学校では、様々な教育活動に取り組んでおりますが、課題もあります。 それは、求められている「〇〇教育」の増加です。学習指導要領総則編では、「現代的な諸課題に関する教科等横断的な教育内容」として、多くの「〇〇教育」があげられています。 また、学習指導要領に記載はありませんが、「〇〇教育」といわれている教育が数多くあり、これらは、各教科等に関連させています。 求められる〇〇教育等が増加し、多様化する中で、カリキュラム・オーバーロードの現状もあり、授業準備等にあたる教師の負担も課題に挙げられる中ではありますが、カリキュラム・マネジメントの推進が重要な鍵となります。 今後は、各学校が学校運営協議会の意見や学校評価も踏まえながら、子供たちにどのような資質・能力を身に付けさせたいかを明確にし、一貫性のある方針のもとに、産官学と連携した特色ある取組として、引き続き様々な教育活動を実施していきたいと思います。 説明は以上となります。
教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	ありがとうございます。この夏休み期間中、市の広報を見て、語り部の方の講演と、戦争に関する映画を観るイベントに参加しましたが、子供の参加は少なかったです。親も含めてあまり平和教育には関心がないのかなと少し残念に思ったところです。 先ほど課題にもありましたが、単発でというよりも歴史や国語等の授業を通して、平和に関して常々考えることが大事なことと思います。また、実際に戦争を体験した人の話を聞くことは中々難しいと思

	いますが、今回のように語り部の方の話を聞くことは心にくるものがあると思いますので、積極的に取り入れていただきたいと思います。
教 育 長	ありがとうございました。広島を選択する学校が少ない中、修学旅行で原爆資料館のそばで大地讃頌を歌ったことは感動的で素晴らしいと思いました。 以前は、他の学校も広島に行っていたこともあるのですが、近年は修学旅行先として奈良・京都に限定されてしまっているように思います。こうした経験をすることは、本当に大事なことだろうと思います。
委 員	今年の平和記念式典での広島市長の平和宣言や広島県知事の挨拶を聞くだけでも非常に勉強になると思いました。特に今年は、お二人とも極めて論理的で素晴らしい話をなさっていました。平和教育は言わずもがな大事なことですし、先ほどの内容はやはりとても素晴らしい試みですが、伺っていると大上段に構えすぎているような気もしております。 平和宣言等の内容を聞かせるだけでも勉強になると思いますし、印刷して子供に配るなどすることで、学校の日常の中で「少し読んでみよう」と、授業の中に取り入れていくことが大事なことでないでしょうか。 今の子供たちが、こういった様々なことについて関心を持つ時代になってきているのは、こういう教育のおかげではないかと心強く感じております。 さらに言うと、各国の大使の方や海外の方がたくさん来ていたので、挨拶文は英訳されているはずです。英語になっているものも合わせると英語教育になるのではないのでしょうか。
教 育 長	委員から御提案のあった内容は学校に共有してください。
委 員	平和教育からメディアリテラシーまでの話は、どれも現実的に非常

	に時間がない中で各学校がいろいろ工夫しながらやっている状況があります。先ほどカリキュラム・オーバーロードの状況があるということで、限られた時間をどうやって学校が使っていくかという点も大きな課題の一つかなと聞いていました。 教師の立場としては、戦争の悲惨さを伝えなければと考えるところですが、怖さから「見たくない、嫌だ」と感じる子供たちが増えており、そういう子供を指導していくのは本当に大変だろうと思います。 一校が広島に行き、ここまで活動できた背景にはどういった要因があったのか、それを伝統的にやっているのか、他の学校にどうして広まらないのか等いろいろなことを考えさせていただきました。こうした事例を他の中学校に展開したときに、取り組もうと試みる学校が現れてくれることを期待しています。 それから小学校では埼玉県平和資料館からピースキャラバンに来ていただきお話をしてもらっている状況を知り、先ほど語り部の方の話もありましたが、専門的にお話していただく機会があるのであれば、学校としては助かるのかなと思いました。 すべての教科の中で戦争に関わる内容をそれぞれが教育課程に基づいて取り組むためには、実際に一覧表上でどの教科が関わっているのかが分からないと難しい内容だなと思いました。
教 育 長	全体を見つめながらカリキュラム・マネジメントに取り組む力がないと、扱いきれなかったり、変に偏りが出てきたりしてしまうため、校長を中心にしたカリキュラム・マネジメントというのが一つキーワードなのだろうと改めて感じました。
教 育 長	新幹線を押さえる都合もあり、全部の学校が広島へ行くことは、簡単にはいかないと思いますが、こういうよさがあったということをして市内の中学校でも共有していただきたいと思います。
委 員	事実は事実として知る必要がありますし、できれば日本を好きな子

	供になってほしいと思っています。アメリカなどはシビックプライドを育てる教育をしているという話もあります。右傾化だとかそういうことではなく、やはり大事な部分ですので、きちんと日本を知ってもらい愛してもらえるような教育を進めてほしいと思います。 東松山市にある丸木美術館では、丸木さんが描いた原爆の絵が展示されています。小学校の頃、親と一緒に見て大変な衝撃を受けました。今でも思い出すほど、圧倒的で命に刻まれる経験でした。怖くて見たくないといった気持ちもあるとは思いますが、中学生には見てもらい、命について考える体験をすることも必要かと思いました。
教 育 長	ありがとうございました。衝撃すぎるのではないかと賛否いろいろありますが、広島に限らず埼玉県内にも平和教育に関連する場所や機会があるということを情報提供願います。また原爆資料館は、一生の間に必ず見ておくべきところだなと思います。
委 員	この平和教育を提案した背景として、戦争の悲惨さを理解することでいじめ防止に繋がるのではないかという思いだったことを思い出しました。命の大切さを実感してもらい、生きたくても生きられない人がいるのだというところから、いじめをしないというところまで考えてもらえたらなと思っています。
教 育 長	ありがとうございます。平和教育にあたっては、いじめ防止についても意識しながら授業の中で扱ってほしいという要望が出されていることも各校に伝えていただけたらと思います。 それでは続いて、キャリア教育についてはいかがでしょうか。
委 員	キャリア教育が現在非常に重要視されていて、広く教科の中に取り込まれてきています。体験学習の中から自分の関心や将来やりたいことを少しずつ形成していくことが、本来のキャリア教育なのではないかという気がしています。 学校の中に社会を呼び込む、取り込むという考え方が、すべてにな

	るような気がしています。学校の先生がいくら言葉で言ってもなかなか説明しきれものではありません。様々な方をお呼びして話を聞いて、自分が将来どのような人間になりたいか、どんな仕事をしたいかを、形成する手伝いをしてあげるという位置付けが望ましいのかなと思います。実践を伴うキッザニアやいろいろな職場体験は素晴らしいと思いますので、先ほどの平和教育と同じように、日常の中で取り入れていただくと、子供たちの自己形成に役立つだろうと思います。ますます発展させていただきたいと思いました。
教 育 長	ありがとうございました。冒頭の挨拶で申し上げたことと重なりますが体験の質量が子供によって異なっており、意図的に全員へ届けることを学校で行わない限り、そういう体験ができない子供もいます。本物に触れることや感動があるということが大切であると思います。
委 員	私どもも体験的なものを含めて進めていることはよく理解しているのですが、中学校の写真を見ると、昔から行われているような卒業生や働いている方、高校の先生の話聞く機会が減っている気がしていますが、そういう機会は必要なのではないかと思います。 将来、社会の一員として本人が自立して自分らしい生き方や働き方をしていく手段や方法を見つけていくためには、何らかの刺激が、何らかの形で本人に関わることだと思います。非常に難しい時代だと思いますが、体験的学習やこういう情報をもらう機会を減らさないでいただきたいなと思います。
教 育 長	本当に「〇〇教育」というのはたくさん増えていますが、その中でも、キャリア教育はウエイトが非常に高いものだろうと思います。
委 員	いろいろな範囲の仕事を知り、自分の方向性を見つけていくことも大事だと思いますが、ごみの収集作業といった生活を大事な部分で支えてくれている仕事もあるのだということ、どういう仕事で、どうして必要なのか、どうして大事なのかということも知ってもらえるようなアプローチも何かあったらと思います。

教 育 長	ありがとうございました。子供たちが身近に目にしている仕事の背景として、さまざまなテクノロジーや危機管理意識等が凝縮されていることを知ることは非常に大事だと思います。環境教育にも関わることで、ごみ収集の企業等に来ていただいて話を聞くことがあってもいいと思います。
委 員	キャリアを形成していく上で私が一番大事だと思っている情報が、4 ページにもあるキャリアプランニング能力です。新曽小の目標に「夢をえがき 計画をたて 行動する」とありますが、それが一番大事だと思っています。いろいろな方の話を聞いたり、キッズニアで体験したりする中で、まず夢を描いてもらって、そこからそれを実現させるために計画を立てる力、そして、それに向かってしていく力を是非大事にしていきたいと思います。
教 育 長	ありがとうございます。新曽小の目標は、いわゆるセサミストリートカリキュラムの目標です。セサミストリートカリキュラムは、子供たちの社会性や生涯学習における基礎的な資質の育成を目標としており、まさにこのキャリア教育につながるのではないかと思います。 では金融教育の方に行きたいと思います。
委 員	教師は金融教育の専門家ではないので、いろいろなところの人が来て、事例を話してもらうのが一番いいと思っておりましたので、今後も続けていきたいと思います。最近は金融トラブルのようなことが多くなっている中、子供によるフリマアプリでの事件や事故が増えているようです。各学校においてトラブルは起きてないのでしょうか。
事 務 局	現在は、フリマアプリによるトラブルはこちらに報告されておられません。
委 員	時代に対応して、そうした事件事故に関わるような内容が出てくる可能性もあるのではないのでしょうか。

教 育 長	今後ますます EC やフリマアプリの市場は拡大していくことを踏まえると、そこに子供たちが巻き込まれる可能性は多分にあると思います。そうした御指摘があったことを学校へ情報提供してください。
委 員	金融教育は、お金の使い方を学ぶものと捉えられがちなのですが、本質は、全く違うと私は思っています。 今日、出てきた教育は、社会の仕組みをどうやって学んでその中で自分がどうやって生きていくという視点からの教育だと思っています。そういう意味において、金融教育は「社会全体にお金が回っている中で自分は何をして使っていくか。どうやって豊かな生活するためにお金を使うか」という問いが必要だと思っています。 先ほど出てきたように日銀や生命保険会社等のいろいろな組織の中でお金がどう使われているかを見ることや、どうやって私たちがお店に行って物を買ってお金を払うか。あるいは、借金しないか等です。 ノウハウ的なものと理念的なものと大きく分かれていると思いますが、小学生に理念的なことを言っても分かりません。それならば、限りあるお金をどう使ったらいいか、お家の人が稼いだお金をどうやって大事に使うかということから始めていくのが、金融教育のあり方なのではないかと思っています。 御説明のように様々な試みの中で取り組んでいただいていることはとてもよいと思っています。 特に小学生は先々誰もが自分は何歳でどんなことをしているか、事故や病気に見舞われることは考えもしますが、保険会社等専門の方に来てもらい、万が一のリスクや将来のリスクにどう対応するかをお話いただくことは、とてもよいと思いました。大いに続けていただきたい。外部の方から学ぶことが一番大事だと思っています。
教 育 長	教師になるにあたって金融教育について学ぶ場面はほとんどないため、やはりそこは専門の方に指導していただくほうが子供にも伝わ

	っていくと思います。
委 員	社会経済も厳しいといえは厳しいですし、なかなか昔のように年功序列で定年まで勤めていられる状況ではなくなっており、何らか副業というか補助の収入が必要になっていると思います。そのような内容も子供たちへ教えていただきたいですし、投資についてもきちんとした情報とリスクを伝え、投資とはどうしたらよいのか、あるいはどのように生活費の補助を生みだしていけるのかを、教えていただける場面があればよいと思います。
教 育 長	ありがとうございます。金融ではないのですがけれども、租税教育は全ての学校が長らく力を入れて取り組んでいます。租税教育と金融教育は、切り離して捉えるのではなく、同じお金同士、包括して指導できる仕組みを作ってもよいのではないかと考えます。教育政策室の方で考えてみてください。
委 員	私自身がお金を増やすということに関してあまり教育を受けずにきてしまっていると感じています。子供の頃から何も知らないで育つ子と、中学生の頃から自分の資産を増やす方法を知っている子では、10年後、20年後の資産に差が出てくると思います。今の時代は金利も低いですし、なかなか増やすことが難しい中ですので、そうした知識で格差が出てきてしまうと思います。 勿論学校の先生が教えることは本当に難しいことだと思いますので、是非専門の方に来ていただいて、子供の頃から学んでいけたらいいのかなと思います。
教 育 長	子供の頃から学んで適切に運用していれば、生涯賃金が変わってくる可能性もありますので、金融教育の中に投資も含めながら学んでもらってもいいのかなと思います。 メディアリテラシー教育についてはいかがでしょうか。
委 員	メディアリテラシーは生きていく上において欠かせない、必須のも

	のであります。これはもう、機械を扱うというだけではなくて、社会を円滑に進める活動をする、自分が社会の中に加わっていくための有効な手段を身につけるためのルールです。そういったマナーをきちんと学ばせる重要性が、私はこのメディアリテラシーに凝縮されていると思います。ですから、子供たちに彼らが当たり前のごとく授業や生活で使っているものはきちんと約束の上に成り立っているのだということを理解させることはとても大事です。メディアリテラシー教育は社会に参加するための必須のアイテムですし、何歳になっても大事なことなので、毎年是非やっていただきたいと思います。
委 員	アルゴリズムやフィルターバブル、エコーチェンバー現象は、仕組みを確認すると相当勉強になるなと思い、この教員研修を私も聞きたいと思いました。教員が研修で聞いて、さらに子供たちにどう伝えていくか分かりませんが、とても大事な内容を教員に対してレクチャーされていると思います。この時代だからこそ、理解していないと大変なことになるのだということがよく分かりました。
教 育 長	ありがとうございました。委員がおっしゃった 11 ページの資料は他市ではなかなか見られない取組になりますので、今後注目されることは間違いないと思います。
委 員	メディアリテラシーは大切です。子供たちはゲーム等を通して抵抗なくインターネットに入っていきます。「対戦」を通して他者との絡みも出てきます。ゲームだからと友達になる感覚になりやすいかもしれませんが、自分の向こう側には不特定多数の人がいて、よい人も悪い人もいます。子供たちにどう警戒させるか、これは危ないかなということに気づかせてあげられるようなことを教えていただく方法があればと思います。
委 員	小4の学級活動でメディアバランスを見つけようがありますが、このことは子供への家庭教育においてもとても大事なことで感じています。是非これは毎年実施していただき、子供たちが自分で時間を決めて専念できるようになってほしいと思います。

	調べ学習や授業でも Chromebook を使っていると思いますが、正しい情報を見分ける力は本当に大事であると思いますので、この育成に力を入れていただけたらと思います。
教 育 長	ありがとうございました。おそらく多くの保護者の方がそういう思いを持っていると思いますので、校長会でも改めて提供してもらえればと思います。 では以上で提案は終わりにしたいと思います。続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして6件の報告がございます。 ① 令和7年度第1回戸田市海外留学奨学生について ② 戸田市サイエンスフェスティバルについて ③ 不登校対策に係る動向について ④ 第5次戸田市教育振興計画策定に向けた論点整理について ⑤ 埼玉大学・戸田市連携講座の開催について ⑥ その他 秘密会以外の詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。
説 明 員	報告事項② 「戸田市サイエンスフェスティバルについて」報告いたします。 今年度のサイエンスフェスティバルは7月19日土曜日の午後に芦原小学校にて開催いたしました。 このサイエンスフェスティバルは例年、子供たちが夏休みに入った最初の土曜日に行われております。 今年度は、3連休の初日でしたが、331名の参加がありました。講座名や協力団体名、また当日の様子は資料にあるとおりです。今年度の新規の取組としては8番の参合同(さんごうどう)会社さんによる「ド

	ローン飛ばしてプログラミングを学ぼう」です。ドローンの仕組みや操作の仕方を学び、ドローン飛ばせるので人気のブースとなりました。2 番のサーモフィッシャーサイエンティフィックさんによる重曹とクエン酸で風船を膨らませるブースや3 番の東京ガス株式会社によるガス管を使用した万華鏡づくりのブース、5 番のグリーンガーディアンズさんのペットボトルカップへの植栽などのブースがありました。 参加人数は昨年度よりも少し少ない人数でしたが、安全に運営できよかったと感じております。気温のこともあり受付を建物内に移動させるなど、臨機応変な対応も実施しました。 今年度は中学生の参加者が増加しました。来年度以降も、さらに充実した内容、運営体制となるよう検討していきたいと考えております。報告は、以上でございます。
説明員	報告事項③ 「不登校対策に係る動向について」 報告いたします。 数値は全て、昨年度は令和 6 年 7 月時点、今年度は令和 7 年 7 月時点のものとなっております。 1、多様な学びの場の活用状況については、(1) 小学校の「ぱれっとルーム」は昨年度 83 名が利用しました。(2) 戸田翔陽高校内に設置した「いっぽ」については、昨年度は 2 名が利用、令和 7 年度は 6 名が登録している状況です。(3) シェア型オンライン教育支援センター「room-K」については令和 6 年度 24 名が登録しております。(4) 「すてっぷ」につきましては、令和 6 年度は 31 名の登録がありました。「西すてっぷ」は昨年度 6 名の登録がありました。 2、新規事業としては、先日もお話をいただきました中学校にも校内サポートルーム「きゃんぱすルーム」も 6 月から委託による運用が開始されました。 3 の調査分析に係るところでは、令和 4 年度から、ラボを立ち上げ、今年度は表にあるような先生方に協力いただき、ぱれっとルーム等の効果検証を進めております。速報値として児童・教職員・保護者とも、

	ぱれっとルームの効果を感じているといえる状況です。 最後に 4 のシンポジウムの開催についてですが、令和 7 年度は 10 月 11 日土曜日に文化会館 3 階にて行います。跡見学園女子大学心理学部教授 新井 雅(あらい まさる)様に御講演いただく予定です。新井様は戸田市の発達支援巡回相談員としてお力添えいただいております、令和 6 年 8 月には日本評論社から出版された「令和型不登校をあきらめない」にて「助けを求められない子どもの理解と支援」について御執筆されているほか、不登校対策支援や児童支援の御講演を各地で行っていらっしゃる方です。今後チラシも配布しますので、教育委員の皆様におかれましては予定の許す限り御出席ください。
説明員	報告事項④ 「第 5 次戸田市教育振興計画策定に向けた論点整理について」説明いたします。 前回御説明申し上げた第 5 次教育振興計画の策定に向けて先日 8 月 18 日に第 1 回の策定委員会を開催しました。 当日は十文字学園女子大学副学長の星野敦子委員長の下、本市の社会教育委員会委員長の東京家政大学の宮地教授、教育委員会部局、首長部局、校長会、CS の代表が委員として参加して活発な議論が行われました。 第 1 回は第 4 次計画での取組の進捗状況を確認し、事務局が提示した論点整理をもとに議論を行いました。 簡単ではございますが、当日の事務局資料について説明します。 まず、第 4 次計画の取り組み状況についてです。 「方針 1 子供たちが可能性に挑戦し続ける力を育むための学びの実現について」は、1 人 1 台端末の効果的な活用、戸田型 PBL の推進、電子黒板機能付きプロジェクタ、学校における働き方改革、教員研修の高度化が進められました。 「方針 2 多様性を尊重し、全ての子供たちが力を発揮できるような誰一人取り残されない学びの保障について」は、国の先駆けとなる不登校対策オルタナティブプラン、特別な特別支援教育計画が策定さ

れ、企業等と連携して実践に取り組んでまいりました。

「方針 3 地域・家庭・産官学民などの多様な主体による学びの提供について」は、オンデマンド実施など市民講座の拡充、CS における働き方改革の熟議、部活動地域展開が進められました。

「方針 4 個別最適な学びの実現に向けた EBPM の推進について」は、令和 5 年度よりデータベースの導入や、産官学連携の充実に取り組んでまいりました。

論点整理表を作成し、各委員の皆様から見直しが必要な論点について御意見をいただきました。まず、全体像の大枠については、教育理念のキャッチフレーズについて、社会教育と学校教育の連関が図られるような分かりやすいものにしてほしいとの御意見がありました。また、コロナ禍や生成 AI の拡大等、社会の変化が予測できないというところについては是非盛り込んでほしいとの御意見がありました。

校長先生方からは、これらを踏まえて、学校も学校経営方針などを策定していくため、学校の取組の芯になるような振興計画を作してほしいとの御意見がありました。

また、今回は生涯学習と学校教育との連関もキーワードにあがっていますので、学校教育に焦点化されているところを、広く生涯学習という視点で捉えられるようにという御意見もございました。

「多様性を尊重して、誰一人として取り残されないための教育」

というところでは市長部局の各部局より教育に関わる他の分野における教育や、市長部局において進めている施策の反映などについて御意見をいただきました。

「地域・家庭・産官学との連携」というところでは、生涯学習に係る方針であることが伝わるようにとの御意見、それから子供の意見をいかに反映していくかについても、施策の中に盛り込んで欲しいとの御意見がありました。

最後に星野委員長から素案の作成を行うよう指示がございましたので、これらの御意見を踏まえて、事務局の方で整理をいたします。

	10月の委員会にて子供たちからの意見聴取と、この素案の提示ができるよう準備を進めていきたいと思っております。 以上です。
説明員	報告事項⑤ 「埼玉大学・戸田市連携講座の開催について」報告いたします。資料は、50ページになります。 今年度の埼玉大学・戸田市連携講座は、9月9日（火）から「埼玉大学の研究を共に学ぼう」というキャッチフレーズのもと、理工学研究科や人文科学研究科の先生方に御協力をいただき、全4回で開催いたします。 各回のテーマは、「人は何故、化粧をするのか？—化粧品を『化学』する—」、「ジャグリングパターンの数理」、「韓国の文化人と城北(ソンブク)洞(トン)」、「最近の世界経済情勢について」と、多彩なテーマとなっております。 今回も、会場受講のほか、オンデマンド配信も実施いたします。 8月1日（金）より申し込みを開始いたしましたところ、昨日(8/20)までの状況といたしましては、全4回分で、会場受講115名、オンデマンド受講79名、計194名のお申し込みをいただいております。 報告⑤の説明は、以上となります。
教育長	次に⑥ その他ですが、事務局より何かございますか。
事務局	特にありません。
教育長	以上で、報告事項が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。 教育振興計画についてはこれだけ盛り沢山のものを教育委員の皆さんに簡単に理解していただくのはなかなか難しいと思います。今後5年間の大事な指針ですので定例の教育委員会会議とは別にオンライン等で研修会が出来るといいのかなと思いました。 教育の内容全般に関わる非常に重要な内容ですので、時間を作っ

	て、教育委員の皆さんに御意見を伺う機会を設けることでいかがでしょうか。後ほど日程も含めながら調整させていただきます。 他にはいかがでしょうか。
教 育 長	よろしいでしょうか。 次に次第の 5、その他の次回の教育委員会日程案について事務局より説明をお願いしたいと思います。
事 務 局	次回の教育委員会の日程につきましては、9 月 18 日（木）午前 9 時 30 分からの開催と考えておりますが、お諮りいたします。
委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次にその他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特にありません。
教 育 長	委員の皆様から何かございますか。
委 員	私からは、教科担任制について、どういう現状になっているのか、またその効果や見えてきた課題をお話いただければと思います。元々勉強に対する意欲が高くない他自治体の子供が、教科担任制になってから専門的な先生の話聞けるのがすごく楽しいということで、勉強の意欲が湧いている様子を見ました。戸田市の現状と、教科担任制の効果がどうなっているのか教えていただきたいと思います。
教 育 長	市内の小学校では、やっている学校の方が多いですね。
事 務 局	市内では一部教科担任制の他、交換授業という形で、取り組んでいる学校もあります。
教 育 長	広義な意味での教科担任制には交換授業も含めることが多いと思います。本市においても 4 年生ではあまり見られませんが、5、6 年生では実施している学校の方が多いと思います。そのあたりの実態につ

	いてお願いします。
委 員	日本スポーツ振興センターの保険制度と全国市長会の保険など、学校と関わりがあるようなものがあれば、説明いただきたいです。
教 育 長	分かりました。時期は考えさせていただければと思います。ありがとうございました。
委 員	教員の働き方改革について、私の今のところのイメージでは何も進んでないという気がしています。国の方でも様々議論も進められているようですし、戸田市等ではそれを先んじて取り組んでいただいている部分ではあると思うのですが、現在の進捗状況と今後の予定について伺えればと思います。
教 育 長	国の議論として、学校が行うべき3分類の内容が変わりました。教育委員さんにも知っていただきたい内容になりますので、3分類も含めて早いうちに対応したいと思っています。ありがとうございました。
委 員	戸田市は若い町ではありますが、やはり高齢者の方も多くいらっしゃいます。認知症については、認知症サポーター養成講座というものが、その講座を受けるとオレンジリングが授与されます。9月は認知症月間ということもありまして、是非、子供たちにも市全体で高齢者を支えるという意味で認知症について学ぶ機会を設けていただけたらなと思っています。そうした認知症理解の現状を教えてください。
委 員	本人や周りが違和感をおぼえてもそれを認めることが怖い、どこに助けを求めていいか分からないということがあられるようですので、町全体で少しでも心配だったらこういう所に相談してみてもいいのかなと思います。
教 育 長	是非、提案として取り上げさせていただきたいと思っています。ありがとうございました。

	それでは「報告事項①」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、議案に係る職員以外は退席願います。
	【報告事項①を議決して閉会】
	以上のとおり会議の経過及び結果を記し、相違ないことを証するため署名する。
	令和7年9月18日
	教 育 長
	教育長職務代理者
	委 員
	委 員
	委 員
	書 記